

インフルエンザ



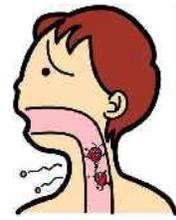
今年もインフルエンザがばちばち出ています。昨年、年初はほとんどB型で軽症が多く、簡単に済んでいました。ところが、このところA型が多くなりはじめ、周囲の先生の話ですと、困る人も出て来ているようです。



インフルエンザはウイルスで伝染しますが、感染経路は、咳、くしゃみなどによる飛沫感染が主で接触によるものもあります。マスクや手洗いが有効です。うがいなどある程度有効とはいえませんが、私はほとんど効果はないと思います。



感染しますと人の上気道、鼻、のど、気管などの粘膜でウイルスが増殖してから全身に拡がるようです。



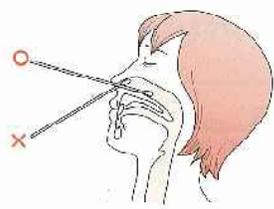
予防接種の効果

予防接種をしますと、体内、血液内のインフルエンザウイルスに対する抗体を高めます。ですから先に説明しましたように上気道でウイルスが増殖する(感染する)のを防ぐことはできませんが、この上気道で増殖したウイルスが体内の各場所へ増殖し、作用を起すことを防ぐことはできます。ウイルスは血液を介して広がるのですがこを抑えることはできるので、老人などに強いインフルエンザが起るのを防ぐには有効なわけです。



インフルエンザの診断

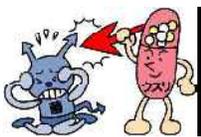
一般には鼻汁のウイルスを検出することによって行われている。十五分程度で出来ます。



インフルエンザの治療
ごく一般のカゼと同様に治療が行われます。

抗インフルエンザ薬
タミフル、リレンザ、シンメトレルなどが、知られています。

以前は、ほとんどタミフルが用いられていた。昨年の特異行動の発表以来ほとんど使われなくなりました。



結局、インフルエンザになっても、他の一般的カゼと同様治療するということになりました。



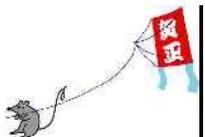
糖尿病友の会に 参加しませんか

現在、糖尿病友の会への参加希望が二名ほどあります。当院では院長が糖尿病ということもあり糖尿病患者はかなり多数おります。

友の会に入会しますと「糖尿病ラ イフさかえ」(日本糖尿病協会編集)という雑誌が毎月配布され、会費もほぼその雑誌代だけ、年々3回は何かの催物をやることになると思います。会費などは参加者がある程度集まってから収めれば良いのです。県の友の会に登録するので最低十名の会員が必要だそうです。



院長



1月・2月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜

E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。
受け付けからのお願い
月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。
編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。